

(別紙4(2))

事業所名:認知症対応型グループホーム 南天(Bユニット)

作成日 : 令和6年 2月 5日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】(1階 Bユニット)					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	開設して3年目となり、業務の標準化は進んでいるが、法人内に別のグループホームがなく、自施設の良い点や改善できる点を客観的に知る機会が少ないため、目標設定がしにくい環境となっている。	模範となるような法人外施設と施設間交流を行い、先進的な取組や目標とする介護技術レベルを知ることで自らの目標や課題を見つけることができる。	所属する愛知県医療法人協会等を通じて他法人の施設への見学を実施する。自施設に情報を持ち帰り、事業所ミーティング等で全スタッフにフィードバックを行う。	9ヶ月
2	12 27 34 36 54	センサーマット等を使用しているが、居室での転倒を防ぐことが難しく、見守りが欠かせないと同時に、頻繁な見守りによって入居者の安眠を妨げたり、ケアへの優先順位が付けづらく職員の負担となっている。	プライバシーに配慮しながら、拘束しない見守りによる入居者の自立支援、重度化の防止を目指す。生体センサーによる常時見守りを実現し重大事故の防止につなげる。施設環境にあった見守りを提供することで職員の負担を軽減し生産性の向上を図る。	愛知県と相談しながら、全居室に危険予兆動作と危険動作を検知する介護ロボットを導入、実証実験を行う。3年間検証を行い、訪室回数の軽減や転倒転落の回数減少の効果を確認し、事例報告を行う。	36ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。